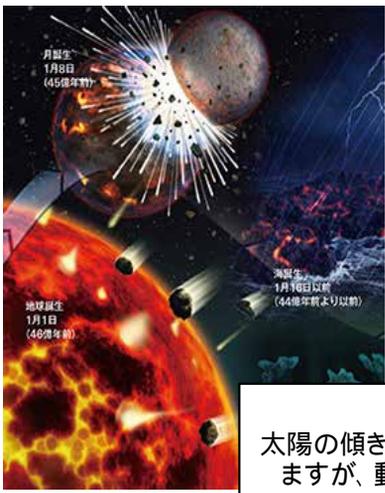


「月の誕生」と「日本の四季の変化」



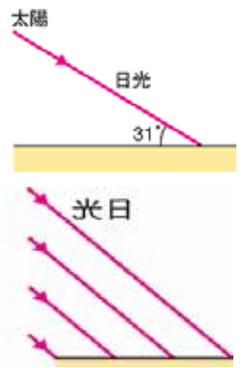
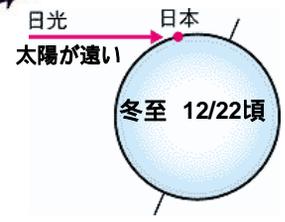
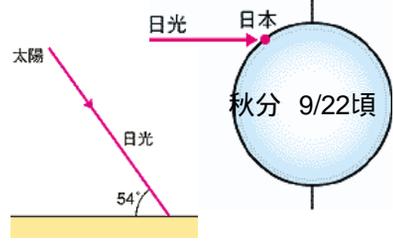
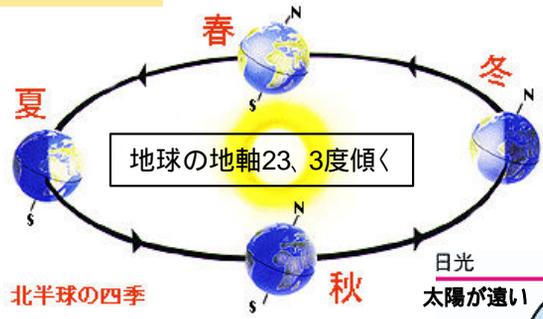
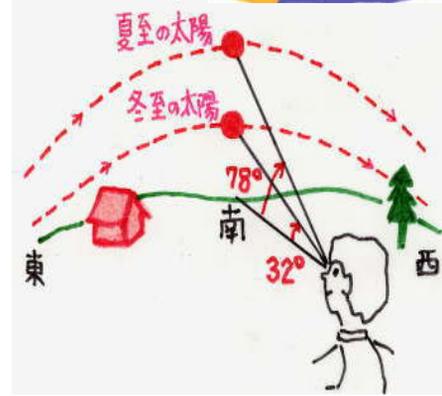
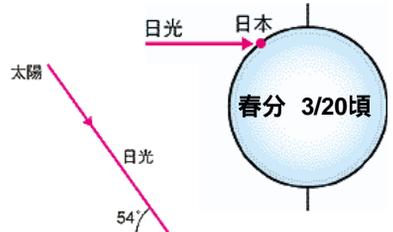
宇宙は今から約150億年前に誕生したと考えられ、その後、100億年以上の長い長い年月が経過、46億年前に地球は誕生しました。太陽系の地球は一日で一回転(自転)しながら1年をかけて太陽の周りを回ります(公転)。月は一か月かけて地球の周りを回っています。更に太陽を中心とする太陽系は天の川の中心を軸に2億2500万年~2億5000万年かけて一周し、太陽誕生から現在まで約20~25周していると考えられます。

地球誕生時、沢山の微惑星が成長しつつある地球に引き付けられ、隕石は毎日、何千個と降りそそぎ、誕生したばかりの地球は熱いマグマの海、火の玉のような姿であったのです。地球誕生から1億年ほど経過した、今から45億年前、地球に火星位の大きさの星がぶつかり、宇宙空間に広がった地球のかけらが次第に集まってかたまり、月になりました。ぶつかった衝撃で地球の地軸が約23、3度傾き、その傾いた状態で太陽の周りを1年かけて公転することにより、日本の四季の変化が出来るのです。夏は太陽が近く強く、冬は太陽が遠く弱いのです。

地球上の生き物は、太陽と月のもとで生きています。太陽の傾きが暑さ寒さに影響し、月の巡りが潮の満ち引きや大潮小潮をもたらしますが、動植物はこれらの変化に合わせて成長しているので、暦はただ単に日付を追うものではなく、生きる指標でもあるのです。



地球の自転軸は公転軌道に直交する線から23.3度傾いています。そのため、半球が太陽の方に傾いているときは夏、そうでないときは冬になります。



月は夜空で一番明るい星だよ。太陽の光に照てらされて、いつも光っているんだけど、月が地球のまわりを回っているから、地球から見る角度によって満みち欠かけしているように見えるんだ。

